

## 2 運転方法



- ① 使用前に本機を立ててオイルゲージを取りはずしてオイルが規定量あるかチェックして下さい。少ない場合補給して下さい。



- ② エアブリードバルブを2～3回ゆるめます。  
(使用後は締めておきます)
- ③ 電源コードを20A以上の電源コンセントに直接差し込みます。延長コードは付属のコード以外(細いコード、コードリールなど)は絶対使用しないで下さい。故障や不調の原因となります。
- ④ 電源スイッチを押します。
- ⑤ 薪を台の上ののせます。処理可能な太さは木の種類によって異なります。太い場合木の端より割って下さい。
- ⑥ コントロールバルブは2スピードになっていますが、レバーをForwardの位置にするとプッシャーが速く動きます。プッシャーが木に当たるまで速く移動させるためにあります。この位置では圧力はなく割れません。プッシャーが木に近づいたらレバーをSPLITの位置にすると圧力が最大になり割ることができます
- ⑦ 節の多い木や割れにくい木の場合無理をせず木の端から試して下さい。またレバーを戻し2～3回加圧を繰り返すと割れる場合があります。
- ⑧ もし割れない場合3秒以上加圧し続けしないで下さい。無理をすると本機に重大なダメージを与え故障の原因となることがあります。また本機保護のためリセットブレーカが作動します。
- ⑨ もしリセットブレーカが作動した場合10秒～20秒時間をおいてリセットボタンを押して下さい。
- ⑩ コントロールレバーをSTOPの位置に戻すとプッシャーは自動的に元に戻ります。

- ⑪ 使用後は電源コードをコードキーパーに巻いておきます。
- ⑫ オプションの四ツ割刃を使用する場合は四ツ割刃についているノブボルトで本機の刃に固定して下さい。木の種類にもよりますが処理径は20～25cm以下です。無理をすると本機に重大なダメージを与える可能性があります。

### 3. メンテナンス

#### 使用時

- ① ウェッジ(刃)がシャープかチェックして下さい。必要な場合平ヤスリで研磨して下さい。
- ② ボルトナットがゆるんでいないか、また溶接部に異常ないかチェックして下さい。
- ③ 電源コード、電源BOX、モータなどに異常がないかチェックして下さい。亀裂など破損している場合部品交換など修理をして下さい。
- ④ 油圧シリンダがスムーズに動くかチェックして下さい。異常の場合油圧オイルを点検し、少ない場合補給して下さい。(油圧作動油 32<sup>®</sup>)

#### 格納時

- ① 本機を立ててオイルゲージをはずしてオイル量をチェックして下さい。2本の線の間にあればOKです。
- ② 200時間使用後オイル交換します。オイルは6.5ℓ入ります。使用直後はオイルが熱いので冷えてから作業します。必要ならオイルゲージのオイルシールを交換します。
- ③ オイル交換後油圧シリンダを3～4回作動させて下さい。

### 4. 保管

- ① 本機を清掃した後湿気のない室内にカバーをかけて保管して下さい。  
立てての保管も可能です。